

第4回SJAC会員企業部隊研修 (海上自衛隊護衛艦かが)

令和7年6月30日、SJAC会員企業による海上自衛隊護衛艦かが研修を実施したので、その概要を報告する。

1. 研修の背景

SJACは令和5年度より会員企業と防衛省・自衛隊との意思疎通・相互理解を深める施策として部隊研修の取り組みを始めた。令和5年度は航空自衛隊百里基地にて2回（56社89名が参加）、令和6年度は陸上自衛隊木更津駐屯地（24社27名参加）にて研修を実施した。

今回は貴重なご縁を頂き、海上自衛隊呉基地にて護衛艦かがの研修が実現した。

2. 研修スケジュール

次に示すスケジュールで研修を実施した。

- 10：05～10：25
JR呉駅前集合後、チャーターバス2台に分乗し海上自衛隊呉基地へ入門
- 10：30～11：45
4グループに分かれ護衛艦かがが艦内見学
- 11：45～12：30
艦内食堂にて体験喫食
- 12：40～13：00
チャーターバスにてJR呉駅前に移動後、現地解散

3. 参加企業（五十音順）38社

- | | |
|--------------------|------------------|
| ■ 株式会社IHI | ■ 東京航空計器株式会社 |
| ■ 株式会社IHIエアロスペース | ■ 東芝電波プロダクツ株式会社 |
| ■ 伊藤忠アビエーション株式会社 | ■ 東レ株式会社 |
| ■ 伊藤忠商事株式会社 | ■ ナブテスコ株式会社 |
| ■ アクセンチュア株式会社 | ■ 日本アビオニクス株式会社 |
| ■ 沖電気工業株式会社 | ■ 株式会社日本製鋼所 |
| ■ 兼松エアロスペース株式会社 | ■ 日本飛行機株式会社 |
| ■ 株式会社グローバルセキュリティ | ■ 日本無線株式会社 |
| ■ 櫻護謨株式会社 | ■ 古野電気株式会社 |
| ■ 株式会社ジャムコ | ■ 株式会社プロテリアル |
| ■ ジュピターコーポレーション | ■ 丸文株式会社 |
| ■ シンフォニアテクノロジー株式会社 | ■ 三菱重工航空エンジン株式会社 |
| ■ スカパーJSAT株式会社 | ■ 三菱電機ソフトウエア株式会社 |
| ■ 住商エアロシステム株式会社 | ■ 三菱プレシジョン株式会社 |
| ■ 相互発條株式会社 | ■ メイラ株式会社 |
| ■ 双日エアロスペース株式会社 | ■ 株式会社UACJ |
| ■ TANIDA株式会社 | ■ 横浜ゴム株式会社 |
| ■ 株式会社寺内製作所 | ■ 株式会社吉光工業 |
| ■ 東京計器株式会社 | ■ Raytheon Japan |

4. 護衛艦かが概要

護衛艦かがは、ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）いずも型の2番艦としてジャパンマリンユナイテッド横浜事業所磯子工場で建造され、2015年8月27日に進水、2017年3月22日に就役し、呉基地を拠点とする第4護衛隊に配備された。基準排水量19,500トン、全長248メートルの巨大な護衛艦である。

2022年3月下旬から2024年3月29日までの間、ジャパンマリンユナイテッド呉事業所においてF-35B戦闘機を運用可能にするための

改修「第1回特別改造工事」が実施され、飛行甲板が長方形になり耐熱塗装が施されるなど、外観上の大きな変化があった。

その後、2024年10月5日から11月6日の間、アメリカ合衆国サンディエゴ沖において米海軍および米海兵隊等の支援を受けF-35B艦上運用試験を実施、百数十回に渡る短距離発艦試験・垂直着艦試験などを行った。なお第2回目の改修工事は2026年度より始まるとのこと。



護衛艦かが全景（海上自衛隊HPより）



改修前の艦首形状（海上自衛隊HPより）



サンディエゴ沖でのF-35B運用試験（海上自衛隊HPより）

5. 艦内見学

(1) 乗艦

参加者84名はチャーターバス2台に分乗して海上自衛隊呉基地係船堀門を入り、護衛艦などが係留されているバース入口まで前進、下車後に徒歩でかがに向かった。乗艦時は従来型護衛艦のようなタラップではなく、右舷中央の大きなハッチから入ることができる。

栈橋中央付近で艦尾に掲揚されている自衛艦旗に向かって一礼をしてから、艦長以下当直の方々の出迎えを受けつつ、艦内の巨大な格納庫に案内された。

集合後、艦長の竹内1佐から歓迎のスピーチを頂いた後、艦内格納庫後方に駐機されているSH-60Jヘリコプターの見学を行った。



右舷側ハッチより乗艦



巨大な艦内格納庫



SH-60J見学の様子



SH-60Jキャビンドアシール：櫻護謨製



SH-60J用RESCUE HOIST：シンフォニアテクノロジー製

(2) 飛行甲板

SH-60J見学の後は前方の航空機用エレベーターまで移動し、全員が乗った状態で飛行甲板まで上がった。

エレベーターはF-35B戦闘機が収まるサイ

ズとのこと。

参加者は壁のようにそびえる巨大な右舷側艦橋部分や、耐熱塗装が施された足元を確認しながら、全長248mの飛行甲板を自由に見学することができた。



格納庫からエレベーターに乗り飛行甲板へ



かが艦長 竹内1佐



エレベーター上での風景



エレベーター上での風景



広大な飛行甲板



CIWS（近接防空システム）ファランクス：Raytheon製、オーバーホールはIHI

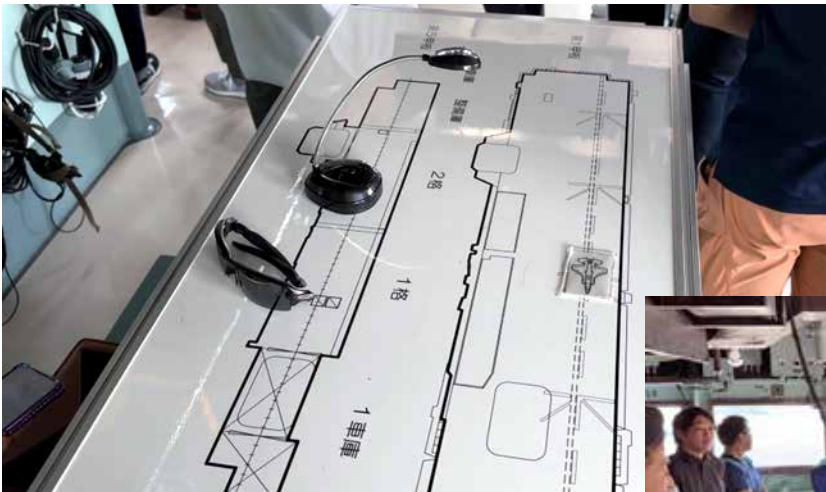
(3) かが概要説明

艦内に入り、大型モニターのある会議室で艦の概要説明やサンディエゴ沖でのF-35B艦上運用試験の説明を受けた。F-35Bの着艦は、公開されている動画のように左舷後方から接近して垂直に降下する方法が通常であるが、

運用試験では緊急時や悪天候時も想定して、艦首方向や側面からの接近など様々な試験が繰り返されたとのことであった。概要説明後、参加者は4グループに分かれて艦内見学を実施。艦橋、航空管制室、搭乗員待機室などを順次巡った。



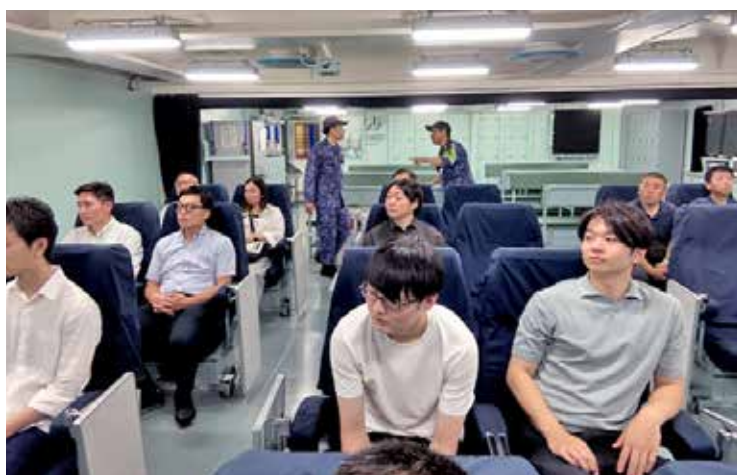
航空管制室内から前方を望む



航空管制室内の見学



艦橋の見学



搭乗員待機室（椅子が大きくリクライニングする）



いずもクラス特有の長い艦内通路

(4) 艦内食堂体験喫食

昼食は、艦内の食堂にて海上自衛隊名物のカレーライスを食べ体験した。通常、カレー

ライスは金曜日に提供されるが、今回の見学に合わせて特別に提供していただいた。もちろん非常に美味しかった。



盛付けの参考



艦内喫食の様子



見送りを受けて退艦



栈橋に停泊中のかが

6. 参加者アンケート

参加者に対し、研修に参加した感想や要望事項、今回お世話になった方々へのお礼等、というテーマでアンケートを実施した。回答を頂いたコメントのうち要改善点については次回以降の研修に反映していきたい。(アンケート結果については代表的なものを末尾に紹介する)

7. その他

かが見学の翌日、海上自衛隊より格別なご配慮を賜り、江田島の海上自衛隊幹部候補生学校において幹部予定者課程卒業式にも参列させていただいた。希望者のみの参加ではあったが、研修参加84名中半数の42名が参列し、貴重な体験をさせて頂いた。



卒業式典参列



午餐会参加



卒業生の行進

8. 所感

今回は初めて宿泊を伴う研修を実施した。また募集人数を前回までの倍に増やしたこともあり、大勢の皆様に参加していただくことができた。従来なかなか実現できなかった参加者同士の名刺交換・懇親の場を設けることもでき、好評を頂いたので次回以降にも繋げていきたい。

結びに、大人数の企業研修を快く受け入れて頂き、また幹部候補生学校の卒業式までご招待頂いた、海上幕僚長以下、海上幕僚監部及び呉地方総監部の皆様、並びに、かが艦内をご案内して頂いた隊員の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。海幕総務課長の「海上自衛官は一人ひとりが広報マンとしての自覚を持って勤務しています。」とのお言葉が心に残る研修となりました。

【研修参加者アンケート紹介】

①研修に参加した感想
普段目にするものがない艦艇の船内や幹部候補生の卒業式に立ち会うことができ大変貴重な経験をさせていただいた。と同時に、普段お付き合いのある海上自衛隊の幹部の皆様の結束の強さやメンタリティの根源を垣間見ることができ、非常に勉強になった。
通常ではまず見ることのできない護衛艦かがの内部を見ることができ、大変貴重な経験をさせて頂きました。また視察中も海自隊員の方が質疑応答の対応をして頂きましたので、疑問に思ったことなどに対し即座に回答を得られる環境になっておりました。その点につきましても心より感謝しております。次回も機会がございましたら研修へ参加したく存じます。
運用者様と会話させていただく機会は業務の指針を考える際に常に重要であり、文字通り大変貴重な経験をさせていただきました。また、この業界に携わっていてよかったと思えた1日でした。
護衛艦「かが」の持つ多機能性や先進的な装備に触れ、大変感銘を受けました。指揮統制の中核としての機能をはじめ、多数の航空機の運用能力や災害派遣時の柔軟な対応力など、様々な任務に対応できる運用設計の巧みに深く感心いたしました。また、艦内をご案内いただいた際のご丁寧なご説明や、食堂でふるまっていたいただいたカレーなど、乗組員の皆様の温かいご配慮に心より感謝申し上げます。
酷暑の中でしたが事前にプログラムの詳細連絡をいただき且つ当日のSJAC関係者皆様及び受け入れていただいた海自広報等の皆様のご尽力により成功したとおもいます。
海上自衛隊の取組み、自衛隊員の皆さんとのコミュニケーションを直に経験したことで自らの防衛に関する認識を深めることができました。今後の仕事への取組み姿勢が変わる気がします。
この度は貴重な経験をさせて頂き、誠に有難う御座いました。格納庫、甲板だけでなく、普段は目にする機会の少ない護衛艦の内部を見学させていただいたことで、日本の海洋安全保障に対する理解が一層深まりました。
懇親会から護衛艦かが見学まで、多くの方々と多岐にわたる会話でき有意義でした。今後もこのような研修を企画いただきたく、お願い申し上げます。暑かったですが記憶に残る研修になりました。
過去全ての基地見学に参加しているが今までで一番充実していた様に感じています。また、艦内の壮大さに感動した。見学している中で、一部でも防衛に携わっている事に更に誇りを感じました。各企業の方々も皆さん目を輝かせており、職務に対するモチベーションUPにも繋がったと思う。非常に有意義な時間でした。
初めてこのような研修に参加させていただきました。文献やインターネットで得た知識と、実際に乗艦して見聞きした内容とでは大きな違いがあり、大変勉強になりました。艦内は非常に狭く、いたるところに突起物や段差があり、階段も狭くて急で、とても歩きづらいというより、怖ささえ感じました。当日はとても暑かったですが、隊員の方から「冬は極寒になることもある」と伺いました。そのような環境の中で、隊員の方々が日常生活を送りつつ、任務や訓練をこなしていると想像するだけで、過酷な仕事だと、本当に頭が下がる思いでした。訓練のみで、実戦に使われることがないよう、心より願っております。

実際に乗艦し様々なご説明を受けながら見学させて頂くことで深い学びと体感する機会となった。また企業の参加が叶わない幹候生卒業式に参加させて頂き幹部となられる方々の熱い思いを感じた。
護衛艦かがの船内見学、海上自衛隊の規律や歴史など普段では経験することのできない貴重な体験をさせていただき、とても勉強になりました。
自身は、航空機やロケット用製品に関わる事が多く、艦艇との関わりや知見は乏しかったのですが、初めて間近で見る艦艇のスケールの大きさに圧巻でした。島国・日本に於ける海上防衛の重要性であったり、哨戒ヘリや戦闘機との連携によりそれが実現されていること等、改めて、理解を深めることが出来たと思います。その他、一般寝室の3段ベッドはとても合理的だと思う反面、日々寝泊まりするとなるとさぞや大変であろうと感じました。カレーはとても美味しく、実際に頂くことが出来て感激でした。
「かが」の見学では、事前学習のYouTubeも大変勉強になり、当日の見学がより深いものとなりました。また、沢山の隊員が付き添ってくれており、いつでも質問ができる環境は大変ありがたかったです。卒業式の参列は、正直「ごくごく普通の式」をイメージしておりましたが、歴史を感じるイベントで、何よりそろっての行進・礼をすることが、こんなにも綺麗なものだと思いますでした。今どきの息子たちにも見せたいくらいでした。初日に懇親会が出来たこともあり、名刺交換をしていた方々と打ち解けながら連日周れたのも良かったです。
・護衛艦かが研修について 日本最大級の護衛艦を見学でき、大きさに圧倒されました。F35Bの離着陸用に改修された甲板を見ることができ、とても貴重な経験ができました。 ・幹候生卒業生式について 海軍時代から続く伝統ある式典に参加でき貴重な経験ができました。式典が行われた石造りの大講堂や校内を見学でき、幹部候補生の方々の生活の一部を知ることができました。

②今回お世話になった方々へ一言
かがの見学に江田島の卒業式の見学に、広報の皆様含め大変お世話になりました。おかげさまでいろいろと学ぶことができ、感謝申し上げます。幹部候補生の卒業式で聞いた君が代は他のどこよりも感動しました。日頃の教育の賜物であると、頭が下がります。このような貴重な機会をいただけただけでなく、卒業式や午餐でも言及いただき、感謝の言葉もございません。
この度の研修開催にご協力・ご承諾頂きました海自関係者の皆様に対し、心よりお礼を申し上げます。とりわけかが内部やデッキ上での写真撮影をご許可頂きましたので、研修参加者のみならず、会社のメンバーへも情報共有することが可能でございました。皆様のお心遣いに感謝致します。
この度、民間人への開示が困難な内容を含めた研修の機会を設定下さり、誠にありがとうございます。
貴重な機会を設けていただき、また終始ご丁寧なご案内を賜り、誠にありがとうございました。艦の運用に関するご説明をはじめ、乗艦中のさまざまなお心遣いに、心より御礼申し上げます。
皆様、酷暑の中、受け入れてくださり御礼申し上げます。今後とも皆様の益々のご活躍を祈っています。いつもありがとうございます。

とても分かりやすい説明、ありがとうございました。かがのscale観に圧倒されました。最初は艦長と認識せずに軽く質問してしまいました。丁寧に質問に色々ご教示いただきました。ありがとうございました。海上幕僚長殿、お名刺ありがとうございました。
乗組員の皆様の献身的な姿勢に、深い敬意を抱きました。
貴重な機会を提供して下さり心から感謝申し上げます。防衛の一翼を担う会社として感激することが多い研修でした。そして月曜日にカレーをご準備いただき重ねて感謝申し上げます。
お忙しいところお時間を頂き誠にありがとうございました。少しでも設備の安定供給に向けてご協力できればと存じます。
かが見学でのご説明では隊員の方に非常に細かく親切にご対応頂き心から感謝しております。また卒業式へ企業から参加させて頂き非常に感動しました。ありがとうございました。
見学の際は、皆さま気さくに接してくださり、誠にありがとうございました。
「かが」見学の際に、たまたま近くにおられた今野将補に質問をさせて頂きご回答を得たのですが、ランチタイムの時に、先ほどの質問の補足で…と追加のお話もしてくださいました。大変貴重で有意義なランチタイムとなりました。また、3日目の卒業式の場面では業務に戻るであろうと、部下の方が車で待っていてくれたみたいですが、私達参列者の学校見学に付き添いをしてくださいました。待っていてくれた隊員にも、「待っていていたのに、ごめんね。本当に申し訳ない。」と深く感謝を述べている姿をお見掛けし、なんて紳士な方だと感激しました。このような素敵な方が日本を守ってくれていると思うと、とても安心します。素敵な人間性は、私も真似たいと感銘を受けました。
このたびは卒業式の見学という海上自衛隊の長い伝統に触れることができる、貴重な機会をいただきありがとうございました。幹部候補生の方々の統率された一糸乱れぬ集団行動にとっても感動しました。海上自衛隊の知見を深め、伝統を知るとても実りのある研修ができました。
今回の部隊研修に参加させていただき、普段の業務の中では見えにくい現場の実情や、その裏にある努力・献身を知ること、自衛隊の果たす役割の重要性を改めて実感いたしました。護衛艦の役割や防衛活動の実情を学ぶことが出来ました。震災での支援等幅広く任務されているお話を伺い日々の日常の裏には皆様のご活躍があつてこそだと思いました。江田島にある海上自衛隊の由緒ある校内や教育参考館を見学したことで、海上自衛隊への理解が一層深まりました。海上自衛隊が設立されるまでの歴史的な経緯を知るとともに、どのような場所で教育を受けているのかを実際に見ることができ、大変貴重な学びとなりました。かがおよび江田島への見学を通して防衛に携わる一員として今後もより一層努めたいと思いました。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部部長 原野 清隆〕